
平成25年度第3四半期 決算説明会資料

平成26年2月10日

日新製鋼ホールディングス株式会社

平成25年10－12月期の概況

- ✓ 政策効果や円高修正による輸出環境の改善に加え、消費税増税前の駆け込み需要も加わり、自動車や建材を中心に、国内の鋼材需要は引き続き堅調に推移
- ✓ ZAMは、太陽光架台など新エネルギー分野での好調も貢献し、受注ベース約6万トン/月を超える状況が継続
- ✓ ステンレスは、堅調な紐付き販売に加え、店売り販売についても回復の兆しが見えるなど曙光が見えてきており、減産の継続と販売価格の改善に取り組む
- ✓ 11月に日新製鋼呉製鉄所の第1高炉で操業トラブルが発生したが、12月には通常操業まで回復。業績に与える影響は40億円程度の損失（営業利益20億円程度、特別損失20億円程度）を見込む

平成25年度第3四半期決算

(億円)

	No	H25年度4-12月				H24年度	差異		
		4-6月 (実績) a	7-9月 (実績) b	10-12月 (実績) c	(実績) d	4-12月 (実績) e※	① d-e	② c-b	
売上高	1	1,311	1,392	1,475	4,178	3,815	363	83	
営業利益	2	54	31	40	125	▲ 133	258	9	
経常利益	普通鋼・特殊鋼	3	45	18	45	108	▲ 97	205	27
	ステンレス	4	15	50	0	65	▲ 35	100	▲ 50
	計	5	60	68	45	173	▲ 132	305	▲ 23
四半期純利益	6	49	42	29	120	▲ 285	405	▲ 13	
在庫評価	普通鋼・特殊鋼	7	0	0	15	15	▲ 60	75	15
	ステンレス	8	10	▲ 5	10	15	▲ 35	50	15
	計	9	10	▲ 5	25	30	▲ 95	125	30
経常利益 〈実力ベース〉	普通鋼・特殊鋼	10	45	18	30	93	▲ 37	130	12
	ステンレス	11	5	55	▲ 10	50	0	50	▲ 65
	計	12	50	73	20	143	▲ 37	180	▲ 53

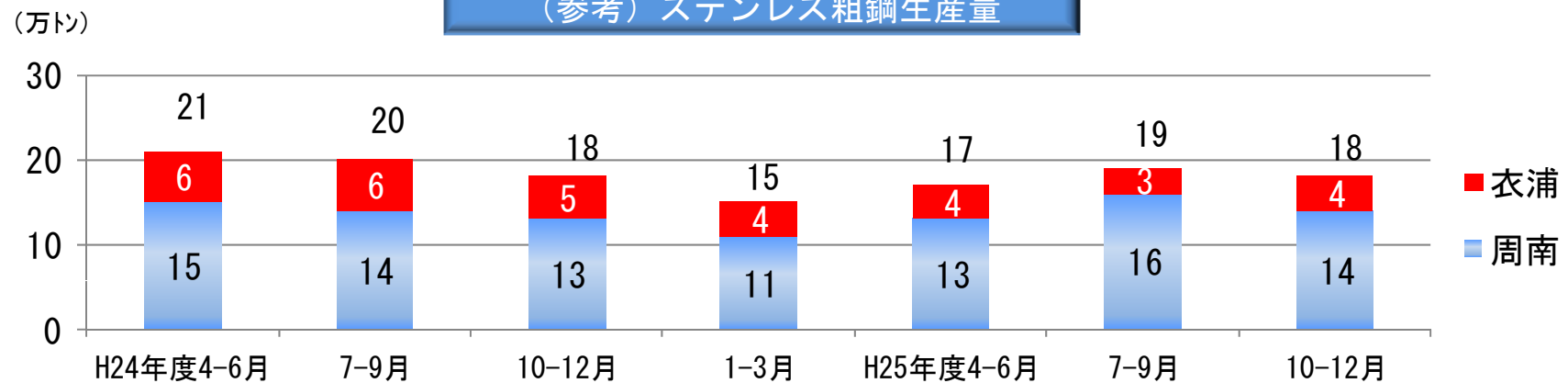
※日本金属工業のH24年度上期を含まない

平成25年度第3四半期諸元

	No	H25年度4-12月				H24年度	差異		
		4-6月 (実績) a	7-9月 (実績) b	10-12月 (実績) c	(実績) d	4-12月 (実績) e※	① d-e	② c-b	
粗鋼生産量 (万ト)	普通鋼・特殊鋼	1	81	81	73	235	246	▲ 11	▲ 8
	ステンレス	2	17	19	18	54	59	▲ 5	▲ 1
	計	3	98	100	91	289	305	▲ 16	▲ 9
販売数量 (万ト)	普通鋼・特殊鋼	4	75	73	79	227	228	▲ 1	6
	ステンレス	5	13	15	14	42	47	▲ 5	▲ 1
	計	6	88	88	93	269	275	▲ 6	5
鋼材平均単価 (千円/ト)	7	119	123	122	121	119	2	▲ 1	
輸出比率 (金額ベース, %)	8	17	15	17	16	16	0	2	
輸出為替レート (円/ドル)	9	99	99	100	100	80	20	1	

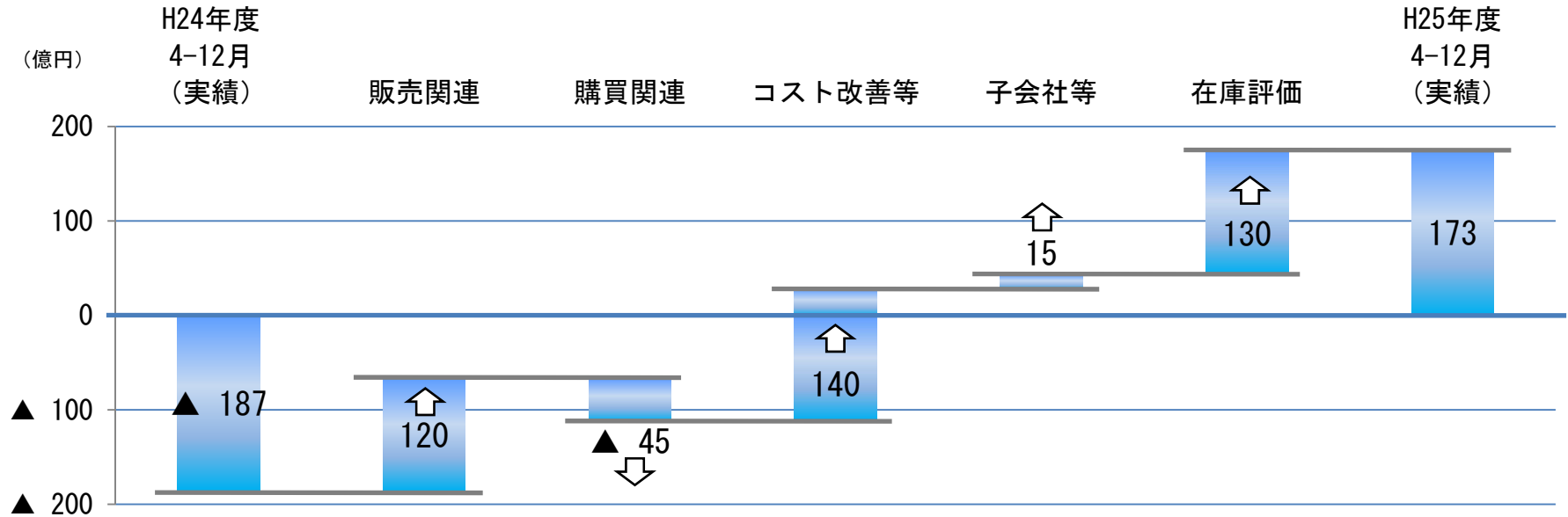
※日本金属工業のH24年度上期を含む

(参考) ステンレス粗鋼生産量



経常利益差異内訳

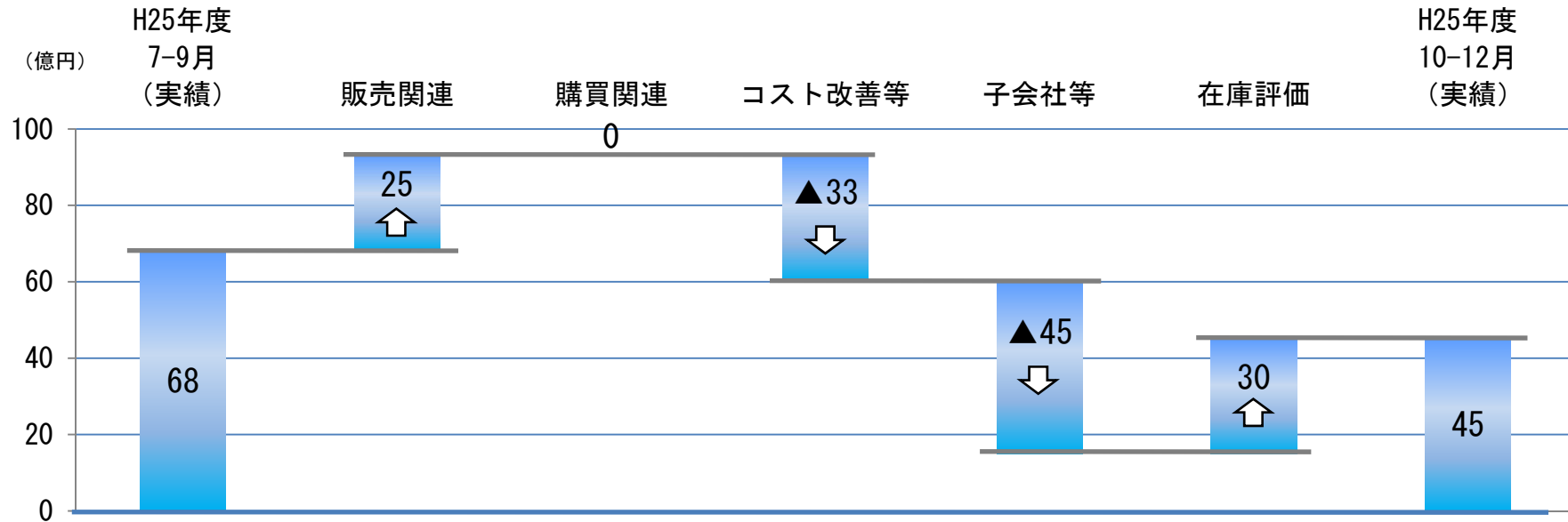
H24年度4-12月(実績):H25年度4-12月(実績)



H24年度4-12月 (実績)		変動要因	
▲ 187		※1 日新製鋼HD(連結)▲132+日金工H24/上期▲55=▲187	
販売関連	120	数量構成差 25、輸出為替差 95	▲ 90
購買関連	▲ 45	鉄鉱石 45、石炭 85、油類 5、ニッケル原料 65、輸入為替差▲245	▲ 35
コスト改善等	140	減価償却方法変更 55、緊急収益対策 20、火災▲10、高炉トラブル▲10、高炉安定化操業▲10、合理化等	65
子会社等	15	国内連子他	10
在庫評価	130	▲100→30 (内ステンレス▲40→15) ※2 H24/上期には日金工分 (▲5) を含む	55
計	360		155
H25年度4-12月 (実績)		173	65

経常利益差異内訳

H25年度7-9月(実績):H25年度10-12月(実績)



H25年度7-9月 (実績)		68	変動要因	50
変動要因	販売関連	25	価格差 25	▲ 5
	購買関連	0	鉄鉱石 10、輸入為替差▲10	0
	コスト改善等	▲ 33	火災 5、高炉トラブル▲10、高炉安定化操業▲10、工事影響等▲10、合理化等	▲ 15
	子会社等	▲ 45	海外連子他	▲ 45
	在庫評価	30	▲5→25 (内ステンレス▲5→10)	15
計		▲ 23		▲ 50
H25年度10-12月 (実績)		45		0

貸借対照表 (H25年12月末)

(億円)

			主な内訳
		対H25/3末	
現預金	385	▲ 47	
売上債権	799	55	
たな卸資産	1,413	29	
その他流動資産	298	80	
有形・無形固定資産	2,661	13	償却▲171、取得 182
投資等	1,664	148	関連会社為替調整勘定の増加 56、 株式含み益 83
資産合計	7,222	279	

有利子負債	3,234	▲ 101	
その他の負債	1,965	151	
負債合計	5,200	50	
資本金・資本剰余金	1,200	—	
利益剰余金	604	106	四半期純利益 120
自己株式	▲ 87	▲ 0	
その他の包括利益累計額	226	118	為替換算調整勘定 79
少数株主持分	78	4	
純資産合計	2,022	229	
負債・純資産合計	7,222	279	

平成25年度業績予想

平成25年度の業績見通し

- ✓ 第4四半期も、国内向け鋼材需要は引き続き旺盛な需要を見込んでおり、普通鋼・特殊鋼は高水準の生産計画・販売数量を見込む
- ✓ ステンレスは価格優先の販売姿勢を堅持する一方、新商品開発・新用途開発にいつそう注力し、お客様とともに新たなマーケットの創造に取り組む
- ✓ 前回予想に比べ、グループ収益増加に加え、在庫評価益の増加を見込むものの、高炉トラブルによる影響等により、経常利益は180億円に修正
- ✓ なお、当社グループ保有資産の圧縮および財務体質強化を目的に、子会社が世田谷区に保有する土地および建物を売却。第4四半期に売却益29億円程度を特別利益に計上する見込み

平成25年度業績予想

(億円)

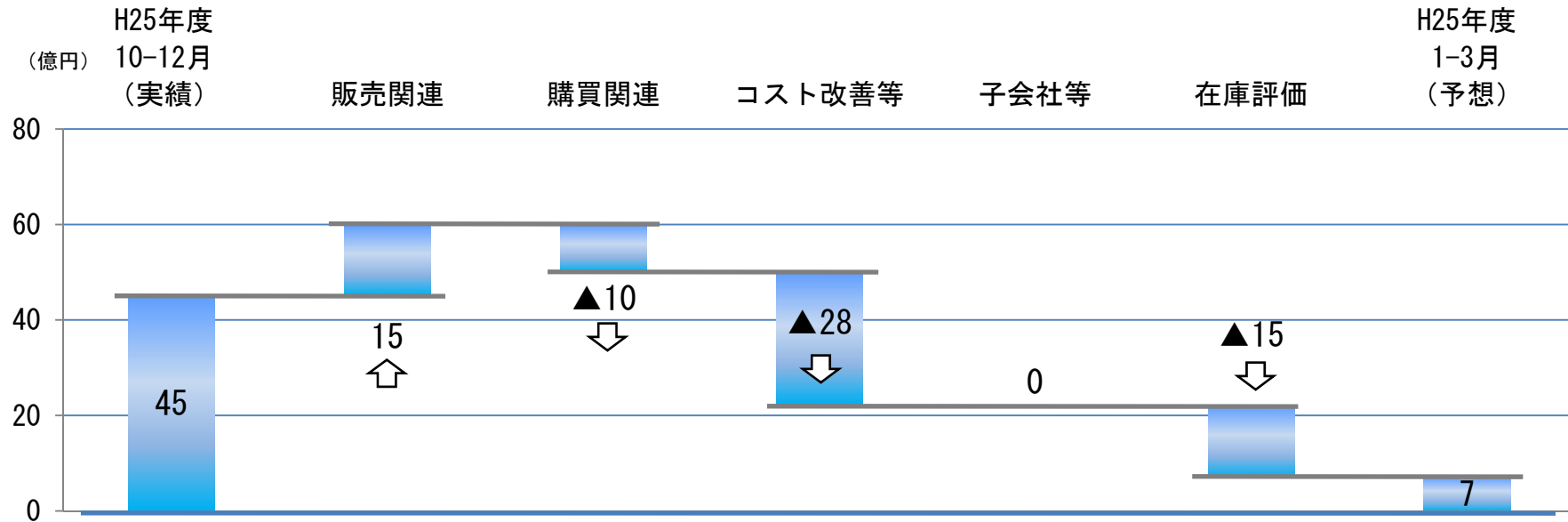
	No	H25年度					H25年度 (前回予想) f	差異		
		4-6月 (実績) a	7-9月 (実績) b	10-12月 (実績) c	1-3月 (予想) d	(今回予想) e		① d-c	② e-f	
売上高	1	1,311	1,392	1,475	1,532	5,710	5,480	57	230	
営業利益	2	54	31	40	30	155	170	▲ 10	▲ 15	
経常利益	普通鋼・特殊鋼	3	45	18	45	12	120	150	▲ 33	▲ 30
	ステンレス	4	15	50	0	▲ 5	60	40	▲ 5	20
	計	5	60	68	45	7	180	190	▲ 38	▲ 10
四半期純利益	6	49	42	29	25	145	155	▲ 4	▲ 10	
在庫評価	普通鋼・特殊鋼	7	0	0	15	10	25	5	▲ 5	20
	ステンレス	8	10	▲ 5	10	0	15	0	▲ 10	15
	計	9	10	▲ 5	25	10	40	5	▲ 15	35
経常利益 〈実力ベース〉	普通鋼・特殊鋼	10	45	18	30	2	95	145	▲ 28	▲ 50
	ステンレス	11	5	55	▲ 10	▲ 5	45	40	5	5
	計	12	50	73	20	▲ 3	140	185	▲ 23	▲ 45

平成25年度業績予想諸元

		No	H24年度	H25年度					H25年度	差異	
			10-3月 (実績)	4-6月 (実績)	7-9月 (実績)	10-12月 (実績)	1-3月 (予想)	(今回予想) e	(前回予想) f	① d-c	② e-f
			a	b	c	d	e	f			
粗鋼生産量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	1	163	81	81	73	84	319	329	11	▲ 10
	ステンレス	2	33	17	19	18	19	73	68	1	5
	計	3	196	98	100	91	103	392	397	12	▲ 5
販売数量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	4	159	75	73	79	82	309	312	3	▲ 3
	ステンレス	5	30	13	15	14	17	59	57	3	2
	計	6	189	88	88	93	99	368	369	6	▲ 1
鋼材平均単価 (千円/トン)		7	114	119	123	122	124	122	122	2	0
輸出比率 (金額ベース, %)		8	16	17	15	17	16	16	16	▲ 1	0
輸出為替レート (円/ドル)		9	87	99	99	100	100	100	100	0	0

経常利益差異内訳

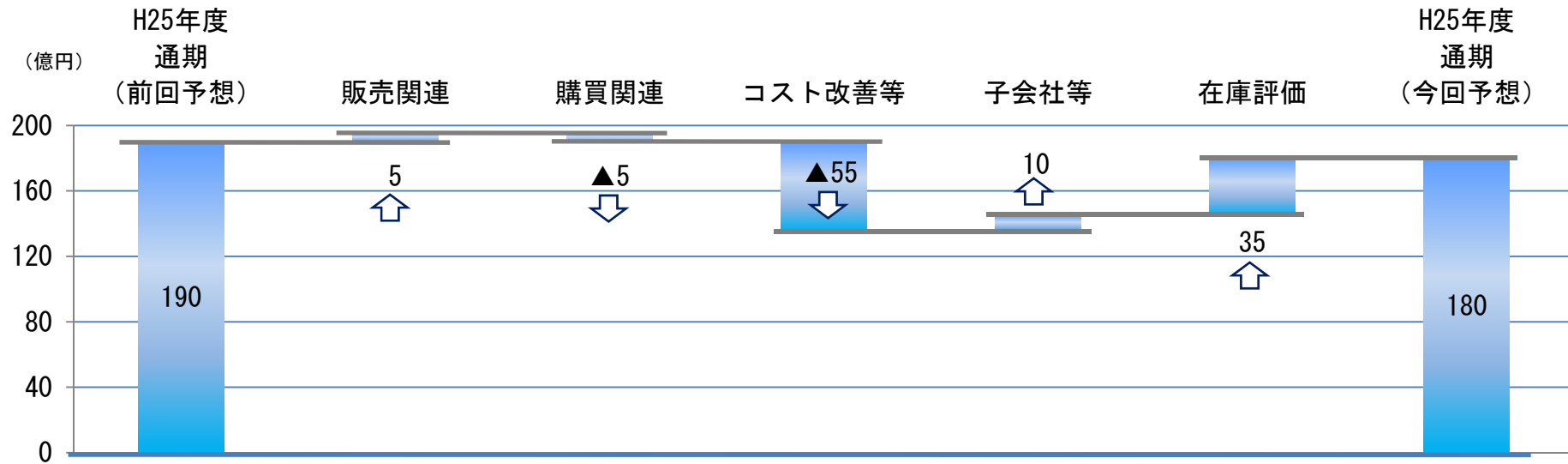
H25年度10-12月(実績):H25年度1-3月(予想)



H25年度10-12月 (実績)		45	変動要因	0
変動要因	販売関連	15	価格差 5、数量構成差 10	10
	購買関連	▲ 10	ニッケル原料▲10	▲ 10
	コスト改善等	▲ 28	外貨為替▲15、労務費▲15、合理化等	5
	子会社等	0		0
	在庫評価	▲ 15	25→10 (内ステンレス 10→0)	▲ 10
計		▲ 38		▲ 5
H25年度1-3月 (予想)		7		▲ 5

経常利益差異内訳

H25年度通期(前回予想):H25年度通期(今回予想)



		(億円)	(内ステンル)
H25年度通期(前回予想)		190	40
変動要因	販売関連	5	0
	購買関連	▲5	0
	コスト改善等	▲55	0
	子会社等	10	5
	在庫評価	35	15
計		▲10	20
H25年度通期(今回予想)		180	60

剰余金の配当

- ◆配当については、安定的な配当を念頭に、期末配当を1株当たり15.0円(年間15.0円)実施

【利益配分に関する基本方針】

連結業績に応じた適切な剰余金の配当を実施していくことを基本に、企業価値向上に向けた今後の事業展開に必要な内部留保の確保および今後の業績見通しを踏まえつつ、安定的な株主還元を実施

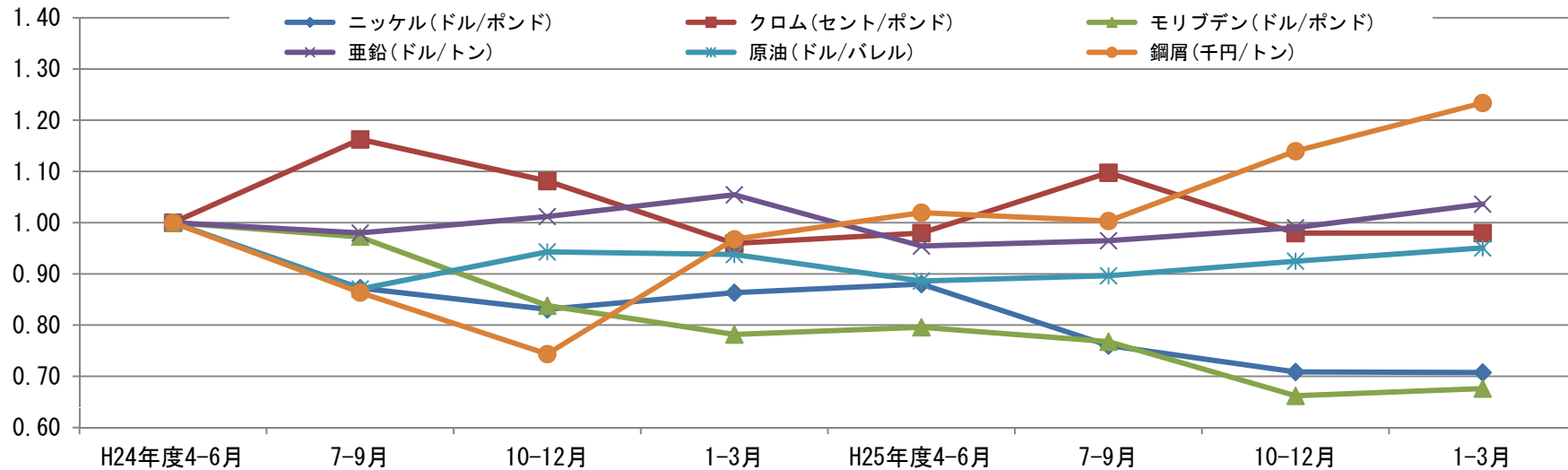
(ご参考)
主要データ



購買市況(適用ベース)

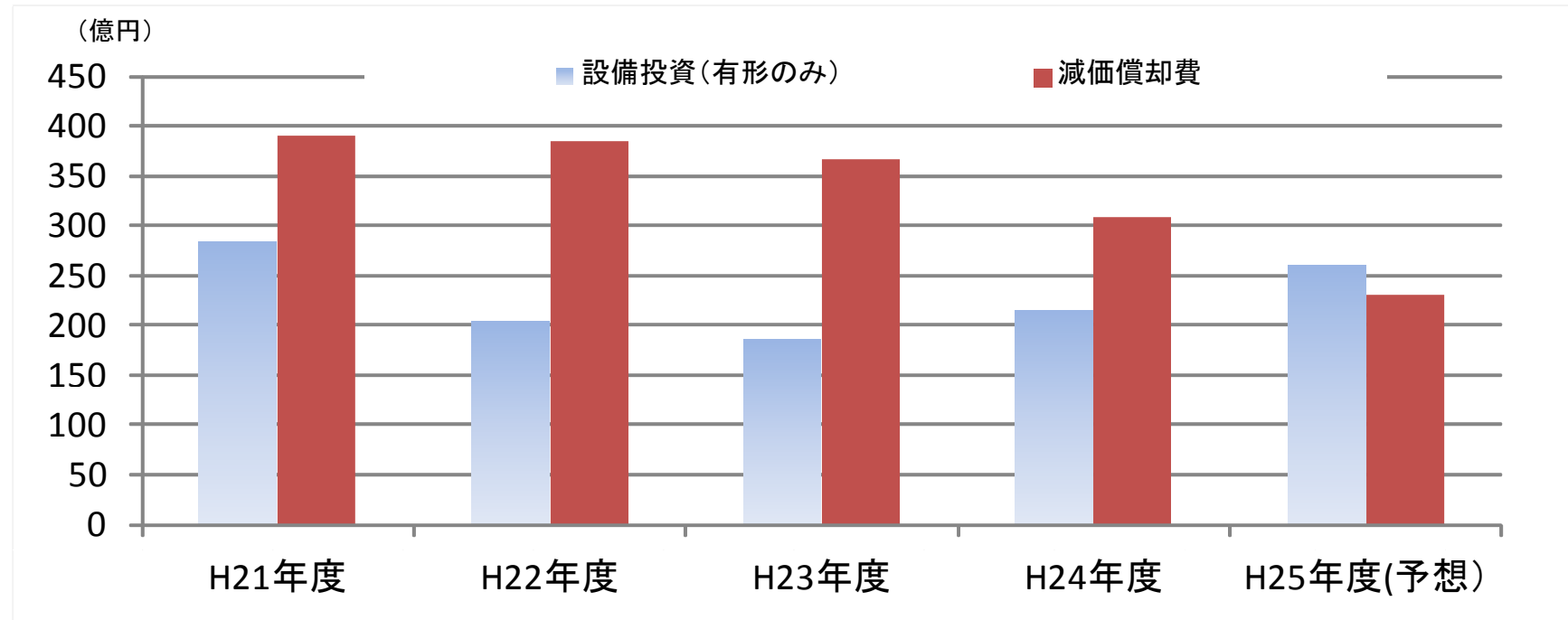
	H24年度							H25年度						
	上期			下期			通期 平均	上期			下期			通期 平均 (予想)
	4-6月	7-9月	平均	10-12月	1-3月	平均		4-6月	7-9月	平均	10-12月	1-3月 (予想)	平均 (予想)	
ニッケル(ドル/ポンド)	8.92	7.78	8.35	7.41	7.70	7.56	7.95	7.85	6.78	7.32	6.32	6.31	6.32	6.82
クロム(セント/ポンド)	123.0	143.0	133.0	133.0	118.0	125.5	129.3	120.5	135.0	127.8	120.5	120.5	120.5	124.1
モリブデン(ドル/ポンド)	14.2	13.8	14.0	11.9	11.1	11.5	12.8	11.3	10.9	11.1	9.4	9.6	9.5	10.3
亜鉛(ドル/トン)	1,928	1,889	1,909	1,951	2,033	1,992	1,950	1,840	1,860	1,850	1,909	1,998	1,954	1,902
原油(ドル/バレル)	115.7	100.7	108.2	109.1	108.5	108.8	108.5	102.5	103.7	103.1	107.0	110.0	108.5	105.8
鋼屑(千円/トン)	30.8	26.6	28.7	22.9	29.8	26.4	27.5	31.4	30.9	31.2	35.1	38.0	36.6	33.9

購買市況の推移 (H24年度4-6月を1.00)



設備投資・減価償却費

※H23年度以前は、日新製鋼連結

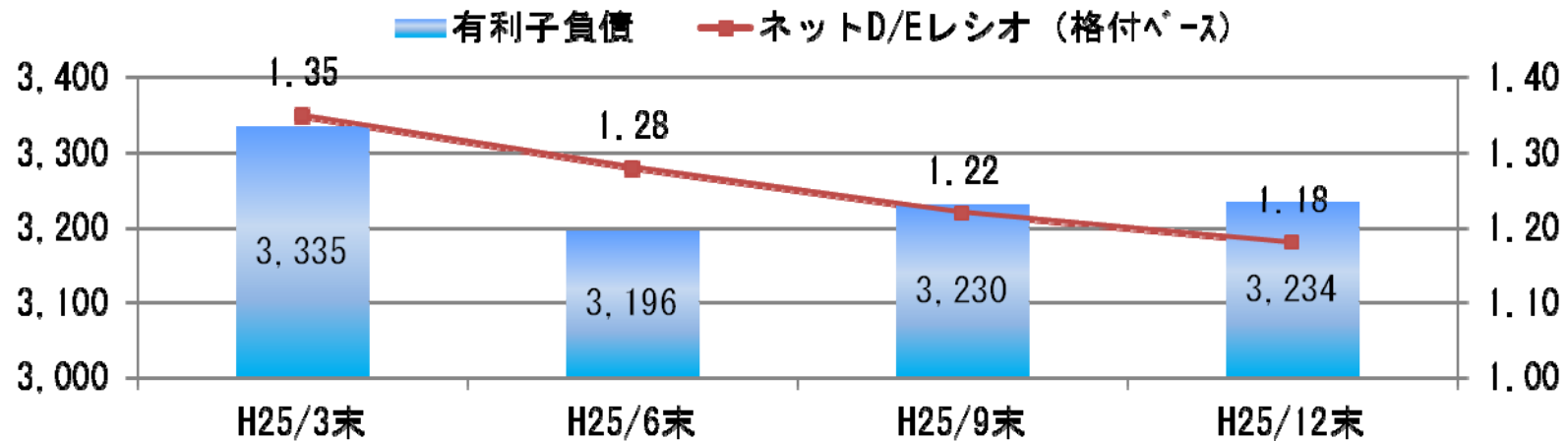


(億円)

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度(予想)
設備投資	284	203	185	215	260
減価償却費	390	384	366	309	230

※設備投資額は有形のみ／検収ベース

有利子負債・ネットD/Eレシオ（格付けベース）



	H25/3末	H25/6末	H25/9末	H25/12末
手許預金(億円)	432	304	379	385
有利子負債(億円)	3,335	3,196	3,230	3,234
ネットD/Eレシオ	1.69	1.59	1.51	1.47
〃 (格付けベース) ※	1.35	1.28	1.22	1.18

※ 日本格付研究所の格付評価上、資本性が認められるハイブリッド証券
 （利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債<劣後特約付・適格機関投資家限定>）
 500億円について、その50%を資本とみなした場合のネットD/Eレシオ

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、平成26年2月7日に行った決算発表内容に基づき作成されており、本資料に含まれている当社の将来における計画、戦略、業績に関する見通しの記述については、当社が同日の段階で把握可能な情報から判断したもので、不確定要素を含んでおります。これらの見通し等は、内外の政治経済情勢、主要市場における需要動向の変動、諸制度の変更など様々な重要な要素により実際の業績と異なる結果となることがあります。

従いまして、本資料にのみ依拠して投資判断されますことはお控えくださいますよう、お願いいたします。また、本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関するお問い合わせ先
日新製鋼ホールディングス株式会社
総務部 広報・IRチーム
TEL：03-3216-6300